

高等部 作業学習 学習指導案

日時	令和4年12月16日（金）3・4校時	場所	高3年教室、玄関、体育館、小・中学部棟
生徒	1年生1名、2年生5名、3年生6名 計12名		
指導者	T1 小嶋美幸 T2 泉澤博人		
育てたい自ら考え行動する力	自分のできることを生かして、課題解決する力		
単元名	「新町商店街・湯瀬ホテルの清掃に向けて」		
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新町商店街や湯瀬ホテルに必要な窓清掃の技術を身に付ける。知 ・清掃サービスの提供に必要な課題を発見し、よりよいサービスの提供のために改善策を考え、実践する。思 ・清掃業務について興味・関心を高め、主体的かつ協働的に取り組もうとする。学 		
生徒と単元	<p><実態> 総合サービス班は3年生6名、2年生5名、1年生1名の合計12名で構成されている。そのうち11名は一般就労を希望しており、卒業後の就労へ向けた意欲が高い。会話でのやり取りが得意でサービス業を希望する生徒から、コミュニケーション面に課題があり、他業種を希望する生徒、卒業後は福祉的就労を希望する生徒まで様々である。総合サービス班では、年間を通じて事務業務、清掃業務、接客業務に取り組んでいる。事務作業では、PCやテプラの打ち込み、ラミネーター等の事務機器の単純操作が身に付いている。清掃業務では、窓・フロアの清掃方法を覚え、校外での清掃で活用できるようになっている。接客業務では、喫茶サービス等の注文を取り、言葉遣いに気を付けて客とのやり取りに応じることができる。昨年度までの地域清掃では、自分から返事や報告ができたり、指示を理解し、集中して作業に取り組んだりすることができ、自信をもっている生徒が多い。一方で、作業の優先順位や効率を考える、分からないことをすぐに尋ねる、それぞれの作業活動で必要とされる手順や道具を正確に活用することが課題として挙げられる。</p> <p><単元のよさ> かづの校は新町商店街や大町商店街等、鹿角市の花輪地区で中心的な商店街が徒歩圏内にあり、人・もの・場所等の教育的資源が豊富な地域に立地している。そこで、総合サービス班で大切にしている、清潔に・丁寧に・おもてなしの心を学ぶ場として活用できる。本単元では新町商店街や湯瀬ホテルでの窓清掃を、複数回にわたり設定できることが強みである。したがって、地域清掃の課題が見え、自分たちで改善策を積み重ね、再度、新町商店街で試す過程を通して、これまでに身に付けた清掃技術や役割分担など生徒同士の連携を生かして課題解決する力の育ちをねらうことができる。また、これまでの地域清掃の頑張りが認められ、湯瀬ホテルからの清掃依頼を受けることができるなど、頑張りを認められる機会にもなっている。そして、地域の直接の声を聞くことで、自信が付いて成長が実感できたりやりがいや達成感を味わったりすることにつながる。加えて、生徒たちが決めた地域清掃目標の達成を目指し、時間内に作業を終えるための優先順位や効率を考えて取り組んだり、必要な清掃技術を習得して活用したりする学習活動を通して、一人一人の育てたい資質・能力に焦点を当てた指導ができると考える。</p> <p><目指す姿> 窓清掃を通して、基本的な清掃の知識と正確な技術の習得や相手に応じた挨拶、返事言葉遣い等、働くための素地の定着を図りたい。また、これまでに生徒が試行錯誤して身に付けた清掃技術や生徒同士の連携をもとに、自信をもって地域での清掃に取り組む姿を目指す。さらに、地域の方の温かく見守る姿勢や優しい声掛けにふれ、卒業後の生活の場となる地域で働く意欲が高まることを期待する。</p>		
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の目標や評価、作業中の気付き等、学習の積み重ねを自分で残すことができるように、作業日誌を紙面とiPadの選択制にしている。 ・生徒同士の打ち合わせや課題解決に向けた話し合い、生徒が思考して行動に移す時間を確保するために、教師の言葉掛けは最小限にとどめる。 ・話し合い活動が苦手な生徒には、教師や友達からの質問のやり取りで振り返る。 		

指導計画（総時数 32 時間）

時 数	小単元の学習内容	学習活動			
			主	対	深
1～8	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃業務の目的^知 ・新町商店街の概要^知 ・新町商店街清掃①の成果と課題発見^思 ・地域清掃目標の設定^思 ・改善策の検討と実践^思 ・新町商店街清掃②で必要となる清掃技術の習得^知 ・地域の方とのコミュニケーション方法の習得^知 ・新町商店街清掃②で必要となる清掃技術の活用^知 ・おもてなしの心での清掃^学 ・改善策の活用^思 	<ul style="list-style-type: none"> ・新町商店街清掃①の振り返り ・校内清掃 ・新町商店街清掃② 	○	○	
9～17	<ul style="list-style-type: none"> ・新町商店街清掃②の成果と課題発見^思 ・新町商店街清掃③で必要となる清掃技術の習得^知 ・改善策の検討と実践^思 ・新町商店街清掃③で必要となる清掃技術の活用^知 ・改善策の活用^思 ・地域の方とのコミュニケーション方法の活用^知 ・おもてなしの心での清掃^学 	<ul style="list-style-type: none"> ・新町商店街清掃②の振り返り ・校内清掃 ・新町商店街清掃③ 		○	○
18～32 (本時28, 29)	<ul style="list-style-type: none"> ・新町商店街清掃③の成果と課題発見^思 ・新町商店街からの評価と自己評価の擦り合わせ^{思 学} ・湯瀬ホテルの概要^知 ・労働の対価^知 ・湯瀬ホテルで必要となる清掃技術の習得^知 ・湯瀬ホテルで必要となる清掃技術の活用^知 ・改善策の活用^思 ・おもいやりの心での清掃^学 	<ul style="list-style-type: none"> ・新町商店街清掃③の振り返り ・校内清掃 ・湯瀬ホテル清掃 		○	○
単元の 評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・新町商店街や湯瀬ホテルに必要な窓清掃の技術を身に付けたか。^知 ・清掃サービスの提供に必要な課題を発見し、よりよいサービスの提供のために改善策を考え、実践したか。^思 ・清掃業務について興味・関心を高め、主体的かつ協働的に取り組もうとしたか。^主 				

本時の計画

(1) 本時の目標

- ・湯瀬ホテルでの清掃を想定し、これまでに見付けた改善策を実践する。【思】
- ・湯瀬ホテルの方やお客さんに喜んでもらえる清掃になるよう、主体的かつ協働的に取り組もうとする。【学】

(2) 学習の過程

時間	学習活動	教師の働き掛け・手立て	学びの姿
10:30 (10)	1 ミーティング 2 めあてと清掃場所の周知 3 前時の振り返り 4 個別目標の設定 めあて 湯瀬ホテルの清掃に向けて、これまでの成果と改善策を活用し、時間内に清掃を終えよう。	◎個別目標を具体的に設定することができるよう、これまでの成果や改善策について発問する。 ・意欲をもって清掃に取り組むことができるよう、新町商店街の方の声を紹介する。	主：前時の振り返りと本時のめあてから、個別目標を具体的に設定しようとする姿
10:40 (60)	5 作業開始 Aグループ 体育館内 Bグループ 玄関 Cグループ 小・中学部棟	・清掃場所に必要な技術で清掃している場面は称賛し、間違っている場合は「この窓の形や高さに対して、この方法はきれいに見えるか」など具体的に発問し、正しい清掃技術を示す。 ◎生徒が必要な清掃技術や役割分担等を判断した理由が明確になるように、理由を問い掛け、取組や考えを言語化する。 ◎振り返りで本時の良かった点や気づきを共有できるよう、必要な場面の動画を撮影する。	
11:40 (20)	6 振り返りと自己評価 ○振り返りの観点 ・良かった点 ・本時の気づき ・湯瀬ホテルでの個別目標	・振り返りの際に、具体的な自己評価ができるよう、観点を提示する。 ◎清掃を通して経験したことが湯瀬ホテルでの個別目標を設定することができるように、良かった点と改善策のつながりをアンダーラインで示す。	対：良かった点や気づきについて自分の意見と、友達の意見や教師の考えを比較し、つながりを理解したり自信をもったりする姿
12:00 (10)	7 まとめ まとめ 湯瀬ホテルの方やお客さんに喜んでもらえるようにこれまでの学習の積み重ねを大切にして清掃しよう。	・湯瀬ホテルの清掃に向けた気持ちを明確にすることができるよう、新町商店街の方の様子にふれ「次はどんな人に喜んでほしいか」と発問する。 ◎期待感や自信をもって湯瀬ホテルを清掃することができるように、これまでの成長や身に付けた清掃技術、改善策の積み重ねを称賛する。	

本時の目標が達成できたかどうかを判断する評価規準と手立て

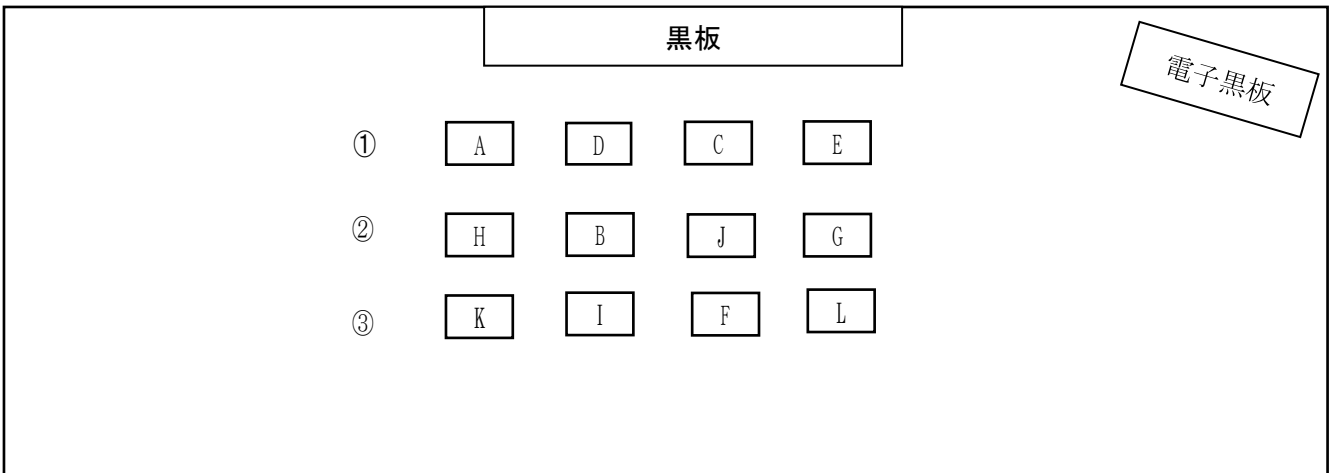
	氏名 (学年・性別)	本時の目標に対する個別の評価規準と手立て
Aグループ (体育館)	A (1・女)	・清掃場所に必要な技術を判断し、周りを通る人に声を掛けて清掃できたか。 <input type="checkbox"/> 思 <input checked="" type="checkbox"/> 主 ・周りを通る人に声を掛けることができるよう、気付きを促す発問をする。
	C (2・女)	・自分で清掃が難しい場合は友達に相談し、解決してから次の清掃場所に移ろうとしたか。 <input type="checkbox"/> 思 <input checked="" type="checkbox"/> 主 ・立ち止まり、考え込んでいる時は、次に行動することに気付くことができるよう「困った時はどうするか」など発問する。
	D (2・男)	・グループの動きを見て、役割分担や清掃時間についての声掛けをしながら清掃ができたか。 <input type="checkbox"/> 思 ・グループ内の様子に目を向けることができるよう、グループの進捗状況を把握しているかどうかを尋ねる。
	E (2・女)	・役割が分かり、困った時や難しい清掃場所がある時等は自分から相談することができたか。 <input type="checkbox"/> 思 ・自分から相談することが定着できるよう、その様子を即時評価する。
Bグループ (玄関)	B (2・男)	・周りを見て清掃場所を判断し、自分から報告して次の清掃場所に取り組むことができたか。 <input type="checkbox"/> 思 ・立ち止まり、考え込んでいる時は、次に行動することに気付くことができるよう「困った時はどうするか」など発問する。
	G (3・男)	・清掃場所に必要な技術を自分で判断し、清掃することができたか。 <input checked="" type="checkbox"/> 知 ・必要な清掃技術を自分で判断できた場合は即時評価し、難しい場合は、違う部分を的確に指導する。
	H (3・女)	・清掃場所に必要な技術を選択し、困った時や自分での判断が難しい場合は友達に相談しようとしたか。 <input checked="" type="checkbox"/> 知 <input checked="" type="checkbox"/> 主 ・自分で判断して取り組む部分と、友達に相談する部分が明確になるように、清掃方法について発問する。
	J (3・男)	・グループの様子を見て、役割分担や進捗状況を把握した指示を出すことができたか。 <input type="checkbox"/> 思 ・グループの様子に目を向けることができるように、グループの進捗状況を把握しているかどうかを尋ねる。
Cグループ (小・中学部棟)	F (2・男)	・友達とグループの進捗状況を相談し合って、清掃を進めることができたか。 <input type="checkbox"/> 思 ・自分から相談し合って進めることができるよう、相談場面を即時評価する。
	I (3・男)	・グループの進捗状況を見て、グループの役割分担や必要な清掃技術を判断した指示を出すことができたか。 <input type="checkbox"/> 思 ・指示の内容がよかったかを判断できるように、役割分担や必要な清掃技術を判断した根拠について発問し、即時評価する。
	K (3・男)	・清掃場所に必要な技術を判断し、近くを通る人に声を掛けて清掃することができたか。 <input type="checkbox"/> 思 ・周りの様子に気を配って清掃することができるよう、職員に近くを通ってもらい、声を掛けるタイミングや声量を指導し、できた時は称賛する。
	L (3・男)	・役割が分かり、自分から準備や清掃、片付けに取り組もうとしたか。 <input checked="" type="checkbox"/> 主 ・主体的に動くことができるよう、学習の流れを具体的に示し、できた時は称賛する。

(3) 板書計画

総合サービス班	単元名「新町商店街・湯瀬ホテルの清掃に向けて			<地域清掃目標> 準備・清掃・片付けがスムーズにでき、おもてなしの心をもって清掃する。
合言葉 1. 清潔 2. ていねい 3. おもいやりの心	めあて 湯瀬ホテルの清掃に向けて、これまでの成果と改善策を活用し、時間内に清掃を終えよう。 これまでの改善策 ○ ○ ○ ○			
学習の流れ 1 ミーティング 2 作業開始 10:40～ 3 振り返り 11:40～ 4 まとめ 12:00～	Aグループの振り返り 良かった点 気づき	Bグループの振り返り 良かった点 気づき	Cグループの振り返り 良かった点 気づき	まとめ

(4) 環境設定

<導入・振り返り・まとめ> 高等部3年教室



(5) 次時に向けて継続していく部分、改善点